

妖怪を通して 学び、交流した2日間

5月20～21日、鳥取県境港市で中国地方協青年集会「青年フェスタ'16」が開催され、21名が参加しました。境港市はゲゲゲの鬼

太郎の作家で有名な水木しげるの故郷です。青年フェスタが開催される前から、青年委員が「どんな企画をしたら、当日楽しんでもらえるだろう」「学習会はどのようなものがいかな」など具体的に色々と企画を立てていました。

初日は開会式時に、鬼太郎、猫娘、ねずみ男、目玉のおやじに仮想した青年委員が登場し、緊張していた会場に笑いがこぼれ、場が和みました。その後は「水木しげるロード」を散策しました。街には妖怪のブロンズ像があちこちにあります。そのブロンズ像に自分たちで職場や組合に関する名前を付けました。「夜勤明け」「え？また超勤？」などユニークな名前を各班がつけ、会場に帰ってきて、各班で発表し、1位の班には景品が贈呈されました。

夕食後の交流会では、ビンゴゲームをしました。ビンゴゲームでは各自で持ち寄ったものを景品とし、中国地方のおみやげやタジン鍋など様々な景品が用意され、多めに盛り上がりました。

2日目は、水木しげる記念館に行き、館長さんの案内により、平和と環境という視点から、水木しげるの生涯や妖怪を通して伝えられたメッセージなどを学びました。

記念館を見学した後、各班で水木しげるが何を伝えたかったのか、どのようなフレーズが印象に残ったかなどを話し合いました。

妖怪を通して、学び、交流した2日間となりました。



ゲームを通して学んだ 組合の仲間づくり

5月25～26日、岐阜県高山市で東海北陸地方協「ヤングレポリユーション in H I D A T A K A Y A M A」が開催され、43名の青年が参加しました。

高山で開催ということで、まず初めに高山の有名なさるぼぼ作りをしました。参加者は「久しぶりに針と糸を使った」「玉結びってどうするんだったかな？」など少々苦戦した人もいましたが、自分だけのさるぼぼができ、完成したさるぼぼを見て喜んでいました。

さるぼぼ作りのあとは、学習会「仲間づくりゲーム」を行いました。問題を1つ解いたら次の問題に進めるというゲームで、悪戦苦闘する班もあれば、スラスラと次へ進む班もありました。ゲームを終えての感想で「最初は問題を解くのに必死だったが、よくよくブースとかを見ると組合にとって必要なことや組合がどんな活動をしているのか分かった」、「改めて組合が必要だとわかった」など楽しく、組合について学ぶことができました。

夕食交流会では、座布団を使ったゲームをし、その後みんなで踊ったりとても楽しい交流会となりました。

2日目は、高山の古き良き街並みを散策しました。前日に写真コンテストについて説明があり、各班で楽しんでいる写真を撮影し、順位を決めるという内容でした。各班様々な写真を撮影しました。順位決定は2日目の閉会式前に行われ、盛り上がりました。ヤングレポリユーションを通して、たくさん仲間づくりができました。



職場の悩みを共有し、
遊園地で交流

5月28日、大阪府枚方市で近畿地方協青年交流会を開催し、5支部・10名の青年が参加しました。

午前中は「ダイナマイト・ゼン イロウ in 大阪」の説明をし、地元開催ということで、多くの青年に来てほしいと田中希依青年部長（兵中支部）より、アピールがありました。その後、自己紹介をしながら働く職場で悩んでいることなどを話し合いました。「人員が少ない」「超勤が多い」「休憩が取れない」「年休のついている人っていない人の差がすごい」「最近になって組合に入っていて良かったと感じることがあった」などの意見が出ました。

午後からは、全員でひらかたパークまで移動し、パーク内は班に分かれて行動しました。一日小雨が降ったり止んだりといった天気でしたが、アトラクションの待ち時間も少なく、時間ギリギリまでひらかたパークを楽しみむことができました。



1ページ目で載せられなかった写真を載せます☆

東海北陸地方協 写真



中国地方協 写真



今回は、九州地方協青年集会と関信地方協青年集会の様子を掲載予定！お楽しみに(^_^)